

# 香美町スポーツ推進計画

～山・川・海の豊かな恵みと生涯スポーツで  
健康・活力・コミュニティづくり～



平成27年11月  
香美町教育委員会

## 目 次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の背景と趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画の期間	3
第2章 現状と課題	4
1 スポーツを取り巻く社会環境	4
2 香美町の現状と課題	4
第3章 スポーツ推進の方向	6
1 基本理念	6
2 基本方針	6
第4章 スポーツ推進の基本施策	7
1 生涯スポーツの推進	7
2 各種スポーツ大会・スポーツ教室の開催	10
3 スポーツ指導体制の充実	13
4 地域スポーツクラブ等の団体育成、支援	14
5 スポーツ施設の整備充実	15
6 スポーツを通じた国際交流の推進	16
第5章 町民と一体となった計画の推進	17
1 施策の推進体制と役割	17
2 町民の理解と参加の推進	18

# 第1章 計画の概要

## 1 計画策定の背景と趣旨

兵庫県では、平成13年度に「兵庫県生涯スポーツ振興計画」を策定し、「豊かなスポーツライフの創造」を基本理念として、県内全小学校区に地域スポーツ活動を支援する「スポーツクラブ21ひょうご」を設置する等、スポーツ環境の整備に先進的な取組を行ってきましたが、実施期間の終期を迎えることから、これまでの施策の成果と課題を踏まえ、今後10年間のスポーツ施策の基本的な考え方や具体的な方向性を示すため、平成24年度に「兵庫県スポーツ推進計画」が策定されました。

一方、近年、自由時間の増加や少子高齢化により、従来の経済性や効率性重視の生活から心の豊かさや安らぎのある生活を求めるようになってきました。スポーツも、それぞれの年齢・体力・興味に応じて多様化し、競技や体力づくり、健康の維持増進のためだけでなく、「する」「みる」「ささえる」といった観点から、さまざまなあり方が求められています。

香美町では、これまで教育行政における基本的な方針として、毎年「香美町教育基本方針」を定め、その着実な取組を進めてきましたが、平成24年に初めて教育振興に関する中期的な総合計画として「香美町教育振興基本計画」を策定しました。その中で、生涯学習社会づくりの推進を重点施策として定め、今後5年間に取り組む基本方針としてスポーツの振興を掲げています。

また、香美町教育振興基本計画を進めるにあたり、3つの町民運動として「読書」「あいさつ」「体力づくり」に全町民をあげて取り組んでいます。「体力づくり」は、生涯を通して健やかな心身を培い、豊かなコミュニティを築き、次代を担う青少年の人格形成や健全育成にも重要な役割を担っています。

山・川・海の恵まれた自然環境の中で、スキーや海水浴、マラソンやウォーキングなどのアウトドアスポーツにも町内外の多くの人々が親しんでおり交流を深めています。活力あるまちづくりにおいてもスポーツが大きな推進力となっています。

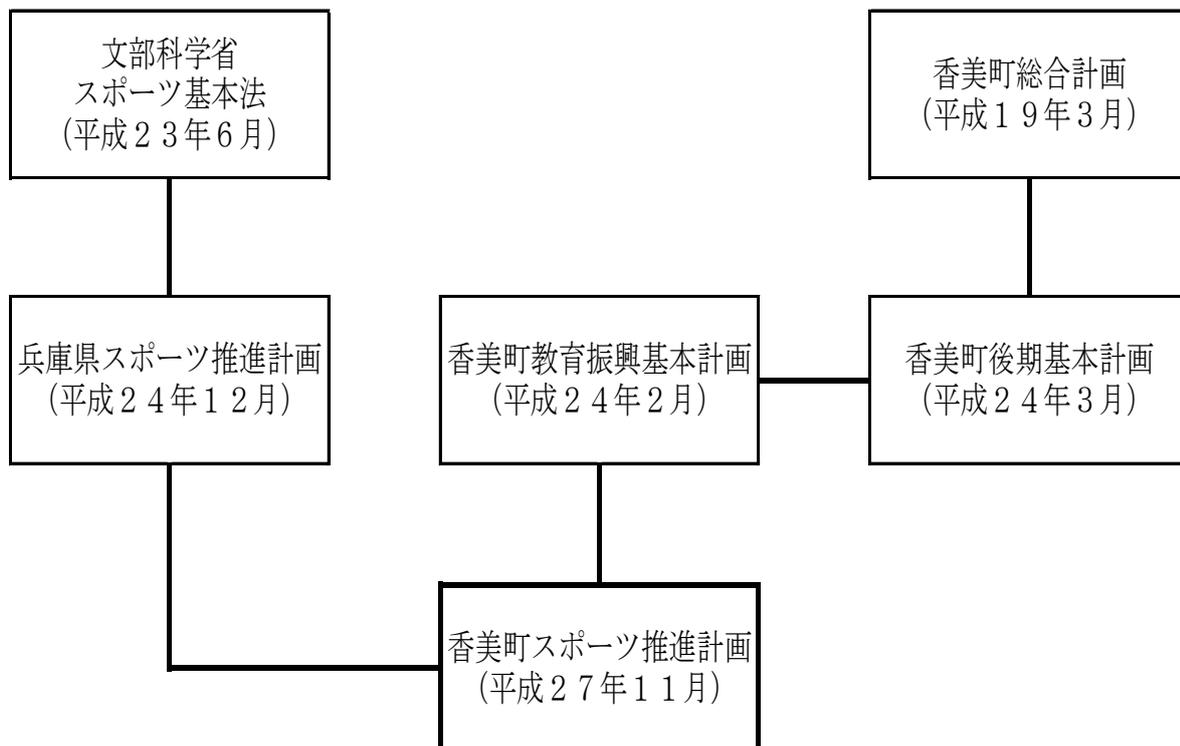
本計画は、国のスポーツ基本法に基づき、香美町の実情に即した形のスポー

ツ推進を図るとともに、スポーツの多面的な役割をより明確にし、さらに持続的発展を図るため、また、「香美町総合計画」及び「香美町教育振興基本計画」に掲げた施策を効率的・効果的に実施するために策定しました。本計画によって、スポーツ推進の方向性を定め、その理念を行政・各機関・そして全ての町民が共有することで、町民一人一人が生涯にわたってスポーツに携われる生涯スポーツ環境の形成を目指します。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、国の「スポーツ基本法」に基づくスポーツの推進に関する計画で、香美町のスポーツに関する施策を関係機関が連携を図りながら、総合的に推進するための指針として、また、「香美町総合計画」に示している教育・文化の充実・創造分野のスポーツ推進の施策をより具体化するものとして策定します。

また、平成24年2月に策定された、「香美町教育振興基本計画」のスポーツの振興の、中・長期的な基本的な方策、生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備を推進するための基本方針とします。



### 3 計画の期間

計画の期間は、香美町教育振興基本計画（平成24年2月策定）との整合を図るため、平成27年度から平成33年度を目標年次とします。今後の社会情勢などの変化や香美町総合計画及び香美町教育振興基本計画の改訂に合わせ、基本内容等を見直すものとします。

また、国・県等のスポーツ施策の更新に合わせ、一部変更が必要な場合は、その都度改正し、語句等を修正します。

## 第2章 現状と課題

### 1 スポーツを取り巻く社会環境

近年における社会環境、生活環境の変化は身体的活動の機会を減少させるとともに心身に大きな影響を与えています。また、急速に進行する少子・高齢化は、社会活力の低下や社会保障費の増大といった、社会・経済面への影響だけではなく、個人の生き方にとっても大きな課題を投げかけています。

また、生活の質やゆとりなど心の豊かさを求める傾向が高まってきており、個人のライフスタイルが多様化、個性化するに伴って、スポーツに対するニーズも多様化してきています。

さらに、子どもたちの健やかな成長にとって家庭や地域の果たす役割がますます重要になってきています。スポーツに関しても生涯スポーツの基礎づくりや体力の向上、家庭や地域とのふれあいなど、さまざまな観点から学校・家庭・地域が相互に連携を図りながら、子どもたちのスポーツ活動を充実していくことが求められています。

一方、住民のスポーツ活動は、学校や行政が進める以外に総合型スポーツクラブやスポーツ団体、町民自身が行う自主的なスポーツ活動など、さまざまな方面で大きな広がりを見せています。

こうした社会環境、生活環境の変化に応え、また、町民のスポーツ活動の広がりをさらに拡充していくために、時代に即した新しいスポーツ推進施策が求められています。

### 2 香美町の現状と課題

スポーツの推進は、地域住民の交流の場づくり、健康づくりに欠くことができません。「継続できる生涯スポーツへの参加」を目標に、香美町体育協会、香美町スポーツ推進委員、スポーツクラブ21を中心として、各種スポーツ大会、スポーツ教室などの開催を支援します。

平成26年度に実施された香美町まちづくりについての住民アンケート結果

によると、香美町のスポーツ推進の満足度は「満足」が「不満」を上回る結果となっており、概ね満足している状況になっています。一方で、今後のスポーツ推進の重要度に関しては「重要」「やや重要」が約7割をしめており、現時点では概ね満足しているものの今後より一層の充実を図っていく必要がある結果となっています。同じく、平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、香美町の小学生の体力においては全国と比較するとやや低い傾向にあり、逆に中学生はかなり高い結果となっています。中学校での保健体育の授業や部活動などによりバランスよく運動能力が向上している結果となつていえます。また、運動習慣に関しては、幼児期の運動経験や興味づけが小中学校での体力・運動能力に影響を及ぼし、運動への意欲にもつながっていることから、今後も幼稚園・保育所を巻き込んだ校種間の連携を積極的に進めていくことが必要です。

香美町のスポーツ・レクリエーション活動の状況をみると、高齢者を中心としたグラウンドゴルフ、ウォーキング、女性を中心とした家庭婦人バレーボール、青壮年層のスポーツ（ソフトボール、野球、スキー、バレーボール、ジョギングなど）、少年層のスポーツ（サッカー、野球、スキー、バレーボール、卓球など）など広範にわたり行われていますが、スポーツ人口は減少傾向にあり、とりわけ女性・壮年層の参加はやや低調であり、参加しやすい体制の整備を図る必要があります。



また、各社会体育施設は、利用の利便性を向上させるとともに、施設の老朽化が進んでいることから、利用者の安全性を確保することを最優先に補修や改修についての検討が必要です。



## 第3章 スポーツ推進の方向

### 1 基本理念

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に必要なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは極めて大きな意義があります。スポーツを競技や運動・体育に限定するのではなく、体力づくり、健康の保持・増進はもとより、青少年の健全育成、観光・文化交流などのスポーツの効果、魅力を大きく捉え、香美町の特徴を生かしながら地域の活性化を図るとともにスポーツ文化の定着を目指します。

この考えを基に、多くの町民がそれぞれの体力や年齢に応じた豊かなスポーツライフを楽しみ、活気のある町づくりにつながるよう「体力づくり運動」を推進します。

### 2 基本方針

スポーツは、町民の健康増進や体力向上、人と人との交流による明るく豊かで活力に満ちた地域社会づくりに不可欠です。このため、地域の活性化につながる各種スポーツ大会の開催、指導員の高齢化へ対応するべく新たな指導員や審判員の育成、体育施設の有効利用など、多面的に推進します。さらに、子どもたちをはじめ多くの町民が幅広くスポーツに接することで、心身の両面にわたる健康の増進が図れるよう、さまざまなスポーツ大会やスポーツ教室の開催を支援し、普及啓発します。そのために、スポーツ推進委員の研修を深め、活動の場を増やし地域スポーツの指導者としての質の向上を図ります。広く多くの町民がスポーツに親しむよう、スポーツクラブの運営体制を充実し、情報交換・情報発信を活発にすることで、多様なニーズに応じていきます。

## 第4章 スポーツ推進の基本施策

### 1 生涯スポーツの推進

スポーツ活動が、健康の保持・増進、体力作りや地域社会の連帯感を育てるためにも大きな役割を担っています。スポーツを通して町民が世代を超えてふれあいを深めていくことは、コミュニケーション能力や思いやりの心、多様な価値観を認め合う気持ちなどを育み、青少年の健全育成に寄与することができます。

そのために、手軽で身近なスポーツを推奨し「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」気軽に楽しめるよう、場所、指導者、プログラムなどを含めた環境の整備や情報の提供を促進します。

#### (1) 継続できる生涯スポーツの推進

継続できる生涯スポーツへの参加を目指すとともに、町民の体力づくり運動の一環として、また、健康づくりとして継続できる手軽で身近なラジオ体操や、ノルディックウォークを推進し、支援します。

#### ア ラジオ体操の推進

ラジオ体操は人間の体をまんべんなく動かすために必要な運動を組み合わせてつくられており、比較的負荷が少なく、「いつでも、どこでも、だれでも」が気軽にできる全身を使った運動です。加齢や生活の偏りなどが主な原因となる体のきしみを取り除き、人間本来がもっている機能をもとの状態に戻し、維持する効果があります。また、健康づくりや運動効果のほか、地域や職場において集団で実施することにより、人と人につながる場や世代間交流の場ともなっています。香美町では、生涯学習



課、健康課、福祉課の職員をはじめ、スポーツ推進委員が全日本ラジオ体操連盟公認指導員の資格を取得し、地域や職場に出向いて正確なラジオ体操の指導ができる体制を整えます。また、町主催のスポーツ大会等で準備運動の一環として、参加者全員でラジオ体操を実施していきます。

## イ ノルディックウォークの推進

ノルディックウォークは、年齢性別を問わず気軽に楽しみ、一般的な歩行運動と異なり、上半身の筋肉も積極的に使われて、全身の約90%の筋肉を使用する有酸素運動を、疲れをあまり感じることなく、より長い時間行うことができます。また、ポールを持って歩くことにより、足首・膝・腰などへの負担を軽減することができ、高齢者や足腰に故障を抱える人のリハビリの運動にも適しています。バランス感覚が落ちている高齢者が用いれば、バランスの維持をサポートして、転びにくくできる利点もあります。

香美町では、町関係職員やスポーツ推進委員が全日本ノルディックウォーク連盟の公認指導員の資格を取得し、地域の公認指導員とともに正しいノルディックウォークの指導・普及を図ります。また、ノルディックウォーク教室の開催や地域のイベント等へ出向いてノルディックウォークを広く、多くの方に知っていただくよう啓発を図っていきます。



## (2) 地域の特性にあったスポーツの推進

地域の特性にあったスポーツとして、少人数でも参加できる卓球・駅伝を、また、スノースポーツとしてのスキーや雪合戦を推奨スポーツとしてその普及に努めます。

## ア 冬季間でも実施できる卓球の推奨

少人数でも参加でき、冬季間でも室内で実施することのできる卓球を町の推奨スポーツとして定め普及を進めていきます。スポーツクラブ等の協力を得ながら卓球台の設置数、場所を増やしていき、いつでも気軽に練習できる環境づくりに努めます。



## イ 少人数でも参加できる駅伝の推奨



全ての運動の基本である「走る」ということに重点を置き、なおかつ少人数でもチーム編成が可能なこと、チームワークの大切さや仲間と協力し同じ目標に向い達成感を学べる点を踏まえ駅伝を推奨します。秋には香美町小学生駅伝記録会を開催し、日頃の練習の成果を発揮する場として、町内全小学校へ参加を促します。

## ウ 雪国の特色を生かしたウィンタースポーツの推奨

降雪地帯としての香美町の気候特性やスキー場などの施設環境、また、ふるさとの自然を生かした、ウィンタースポーツ（スキー、クロスカントリー、スノーシュー、雪合戦等）全般に、公民館講座や教室、また、兔和野高原野外教育センターやとちのき村などの施設と連携を図りながら、気軽に楽しめる機会の充実を図ります。



## 2 各種スポーツ大会・スポーツ教室の開催

子どもたちをはじめ多くの町民が、幅広くスポーツに接することで、心身両面にわたる健康の増進が図れるよう、体育協会やスポーツクラブとの連携のもと、各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催を支援します。

全ての町民が、「継続できる生涯スポーツへの参加」を目標に取り組を進めます。

### (1) スポーツ大会の支援

マラソン大会、ウォーキング大会などスポーツイベントによる地域振興を競技運営等の側面から支援し、大会を盛り上げます。

#### ア マラソン大会の支援

実行委員会を組織し開催される、3つのマラソン大会（香住ジオパークフルマラソン・村岡ダブルフルウルトラランニング・みかた残酷マラソン）の開催を支援します。いずれの大会も参加者が2,000人前後の規模の大きな大会です。それぞれの特色を生かしたマラソン大会の開催を支援し、住民が気軽に参加できるようにします。



## イ ウォーキング大会の支援

但馬牛ゆったりウォークをはじめ、町内で開催されるウォーキング大会の開催を支援します。また、各ウォーキング大会の代表者や有識者、担当課職員によるウォーキングネットワーク会議を組織し、ウォーキング大会の情報交換や連携を行い、より一層の充実を図ります。



## ウ 雪合戦大会の支援

地域の特徴を生かしたウィンタースポーツとしての雪合戦大会の開催を支援します。雪合戦大会に参加する地元チームの増加を図るため、各区毎に用具を設置し、雪合戦の講習会の実施など、日常的に練習ができる環境の整備に努めます。



## (2) 各種スポーツ教室の充実

香住B&G海洋センターを中心に幼児から成人まで幅広く、様々な世代を対象にしたスポーツ教室を開催し、町民がスポーツに親しむ環境を提供します。また、町内保育園(所)・幼稚園と連携し巡回型の体操教室を実施します。

## ア 楽しいスポーツ教室の充実



スポーツの指導を通じた、児童・生徒の心身の成長を目的として、体育協会各種目協会等の協力を得ながらスポーツ教室を開催します。運動習慣はもちろんのこと、あいさつや礼儀にいたるまで、青少年の健全育成・人格形成を目的として開催します。

## イ 幼児体操教室の充実

B & G財団の幼児運動プログラムをもとに、就学前の子どもとその保護者を対象に親子体操教室、5歳児を対象にした元気体操教室を開催します。幼児期における運動習慣がその後の運動能力へ大きく影響する事から、運動への興味づけ、運動習慣を身につけることを目的に開催します。



## ウ 巡回型体操教室の充実

香美町内の全幼稚園とこども園・保育所（園）と協力し月に1回1時間程度、年間10回を目途に各園・所を巡回し、幼児運動プログラムに即した体操教室を実施します。園での生活の中で体を動かすことの楽しさ、重要性を身につけることを目的に開催します。



## エ 健康体操教室の充実

成人を対象に日頃の運動不足の解消や介護予防、転倒防止などを目的として、ノルディックウォーク教室や水中ウォーキング教室・転びにくい体づくり教室を開催します。



### (3) スポーツ大会の充実

子どもたちの体力づくりを促進するため、教育委員会が主催する但馬村岡ミニミニ駅伝大会の開催に合わせ香美町小学生駅伝記録会を実施し、香美町内全小学校の参加とします。また、香美町小学生交流卓球大会についても香美町内全小学校の参加による大会とし、日頃の体力づくり運動や練習の成果を発揮する場として開催します。それ以外の各種スポーツ大会については主催団体や参加団体などと調整しながら、町民のニーズに即した大会になるよう充実を図ります。



### 3 スポーツ指導体制の充実

スポーツ指導者には、スポーツ推進委員、B & G 専門指導員等のほか、体育協会活動で認定された指導者・審判員等がいます。町民のスポーツ活動へのニーズが高度化・多様化する中、質の高い技術・技能を有するスポーツ指導者に対する需要は高まっていますが、その数はまだまだ不足しています。

このため、スポーツ推進委員の研修を深めるとともに、活動の場を増やし、地域スポーツの推進の担い手としての質の向上を目指します。

また、体育協会の自主的・主体的な活動を支援し、種目ごとの専門的技術の向上に努めます。

### (1) スポーツ推進委員の資質向上

スポーツ推進委員の相互研修や但馬、県等での研修会の参加を促し、より多くのスポーツ情報を身につけるとともに、委員一人一人の資質の向上を図ります。



### (2) スポーツ指導者の養成

スポーツ活動が盛んに行われている反面、各競技の専門的な知識を持った有資格者や審判員の高齢化が問題となっています。スポーツの普及・推進を行うため、町体育協会やスポーツクラブ員を中心として日本体育協会、日本レクリエーション協会等が行うスポーツ指導者養成事業を周知し、研修会などへの積極的な参加を促進し、資質の向上と人材確保に努めます。

## 4 地域スポーツクラブ等の団体の育成、支援

スポーツクラブ21は町内の全ての小学校区（10校区）に設置され、子どもから高齢者まで全ての年代が参加し、さまざまなスポーツ活動を展開しています。

「スポーツクラブ21ひょうご」香美町連絡協議会を中心として各スポーツクラブ21の情報交換・交流を図り、地域スポーツの推進につながるよう支援します。

また、「スポーツクラブ21ひょうご」香美町推進委員会において、地域スポーツ活動の支援を積極的に推進していくために適切な事業実施が行えているか審議し、助言・指導を行います。



### (1) スポーツクラブ21加入率の向上

スポーツクラブ21には現在、町民の約35%が加入していますが、地域での底上げを図り、全体として加入率50%を目指し、子どもから高齢者までの幅広いスポーツ活動を促します。

### (2) スポーツクラブ21活動の活性化

「スポーツクラブ21ひょうご」香美町推進委員会の計画協議を踏まえ、各スポーツクラブの活動方針や活動内容等を情報発信し、活動を活発に進めていくよう啓発していきます。

## 5 スポーツ施設の整備充実

スポーツの推進と健康づくりのため、現存施設の有効利用を図るとともに、老朽化が進んでいる社会体育施設については、利用者の安全を確保するため、計画的な補修・改修を検討します。

今後、施設整備をより具体的に検討していくにあたっては、個々の施設の具体的内容はもとより、子どもや女性、高齢者を含む全ての町民が楽しく安全にスポーツ・レクリエーション活動を含むスポーツに親しめる環境を創り出すため、バリアフリーや耐震化等の安全確保に努めるとともに、常にニーズの変化に対応した整備を図る必要があることを十分に認識しながら検討していく必要があります。



## 6 スポーツを通じた国際交流の推進

2020年の東京オリンピック・パラリンピックや2021年の関西ワールドマスターズゲームズの開催に合わせ、東京オリンピック実施競技の事前合宿招致や近畿一円で開催される関西ワールドマスターズゲームズのオリエンテーリングなどのアウトドアスポーツの招致などにより国際交流の推進を図ります。

## 第5章 町民と一体となった計画の推進

### 1 施策の推進体制と役割

本町のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進し、町民一人一人が生涯にわたってスポーツに携わる生涯スポーツ環境の形成を目指すために、行政・各機関・体育協会などのスポーツ団体・町民が一体となって本計画の総合的推進を図ります。

#### (1) 町民の理解と協力

町民一人一人には、その自発性の下に、年齢や性別を問わず、それぞれの関心や適正に応じて日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ役割が期待されています。町は、そのための環境づくりを関係団体と連携して推進します。そうした活動の成果として、健康長寿で、人と人とが深い絆でつながり、活力に満ちたまちづくりの素地を生むことにつながります。



#### (2) 町における推進体制

町民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツに関する施策について、高齢者・障害者を含めた保健福祉の分野、観光振興やまちづくりの部署など関係部署との連携を密にしスポーツ推進に取り組みます。

#### (3) スポーツに関する団体等との連携

町は、地域の実情に応じて主体的にスポーツ推進事業に取り組めるよう、



スポーツに関する団体等との連携・協力を進めながら町全体のスポーツの推進を図ります。また、関係する団体間の交流の機会や関係者による連絡・協議の場を設ける等の取組を推進します。

#### (4) 学校との連携

児童・生徒の体力・運動能力の向上や、生涯にわたって豊かなスポーツライフを営む態度及び能力の育成に向け、教員の指導力向上や運動部活動の活性化を図る取組を推進します。



#### (5) 公民館との連携



地域に根ざしたスポーツ活動の拠点として、スポーツクラブや地域選出のスポーツ推進委員との連携を図りながら、文化事業とともに今後も充実したスポーツ事業が開催され、地区の活性化が図られるよう推進します。

## 2 町民の理解と参加の推進

町及びスポーツ団体は、スポーツを通じて町民が健やかで明るく豊かな生活を享受することができるよう、スポーツに対する町民の関心と理解を深めるとともに、スポーツに対する町民の参加・支援を促進するよう努めます。

